

農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 重点指導結果

事業実施主体名：伊江村農産物安心安全対策協議会

令和 3年 8月 26日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
沖縄県 伊江村	平成30年度	活動計画策定事業 人材活用事業	固定相場での取引が期待されるアジアン野菜について、試験栽培や先進地視察、栽培マニュアル策定等により生産から販売までの体制構築、普及啓発等を行う。 また、幹事会社での人材育成や専門家派遣による営農指導等を行う。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

【評価委員会での評価コメント】

アジアン野菜の生産を軸に、加工、販売まで含めたビジネスモデル構築を目指し、専門家による栽培技術指導、祭りを活用したアジアン野菜を使った料理のPR等を行い、アジアン野菜の普及啓発活動についての目標を達成したが、売上げ、雇用についての目標は未達成。

次年度以降は、幹事会社の休眠の影響を受け、事業は中止となってしまったが、伊江島の農業経営は潜在的に高い収益性を保持しているとみられることから、この経験を今後の取組と組織力向上に繋げてもらいたい。

【目標達成に向けた指導・助言等】

令和元年度に作成したアジアン野菜栽培マニュアル等、事業を実施する中で得たノウハウを活用し、引き続き高収益作物の生産に取り組もうとする農業者等のサポートを実施されたい。

併せて、戦略作物の普及に向けたイベント開催等により、事業の目的である雇用創出、農産物生産の経営指標の改善等に取り組まれたい。

2. 低調と評価された要因

加工食品の開発や販路開拓、人材育成を行う予定であった幹事会社が令和元年度に休眠したため、幹事会社と契約していた生産農家や出荷先が減少し、さらに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、生産農家の取引先も減少した。その結果、令和元年度目標の達成に至らなかった。

3. 目標達成に向けた方策

- 新規参入者の確保を目指し、栽培マニュアルを活用した普及啓発を実施。イベント等にも出展を予定していたが、コロナ禍で中止となった。
- 関係機関や新規参入した農家と協力し、新規の販路開拓や技術指導等の生産支援の取組を実施。
- 伊江島に配置された移住コーディネーターと連携して農業を含めた伊江島の魅力発信を行い、高収益作物生産への新規参入者確保に取り組んだ。

4. 改善状況

当初計画していた実施体制から大きく変更はあったが、事業で作成した栽培マニュアルやノウハウを活用し、作付面積は増加傾向にあり、新規参入を検討する声や問合せも出てきている。

新規参入者確保に必要な安定した生産体制と販路の確保のため、既存農家と協力して販路開拓を行い、既存の1者から新たに2者を確保することができた。引き続き、関係機関と協力し、普及啓発や販路開拓を実施する。